

# みどり 水土里ネット富山だより

(富山の土地改良情報)

2020  
第577号

1月1日発行

## 謹賀新年



飛来した白鳥の後方に望む立山連峰（富山市婦中町）

監事	監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	専務理事	副会長	会長
道小島茂生 (魚津市土地改良区理事長)	桜井森夫 (小矢部市土地改良区理事長 小矢部市長)	廣瀬慎一 (庄西用水土地改良区理事長)	夏野元志 (射水平野土地改良区理事長 射水市長)	奥村隆 (常東用水土地改良区理事長)	上田英俊 (入善土地改良区理事長 富山県議会議員)	大井正樹 (高岡市土地改良区理事長 高岡市議会議員)	夏野修 (砺波市長)	岩田忠正 (城端土地改良区理事長)	中川忠昭 (常西用水土地改良区理事長 富山県議会議員)	永森雅之 (学識経験者)	鹿熊正一 (朝日町土地改良区理事長 富山県議会議員)	堂故茂 (参議院議員)	

(他 職員一同)



### 水土里ネット富山

(富山県土地改良事業団体連合会)



# CONTENTS

## 1 新年のご挨拶

富山県土地改良事業団体連合会長	堂故 茂	1
全国水土里ネット会長	二階 俊博	2
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進藤 金日子	3
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮崎 雅夫	4
富山県知事	石井 隆一	5
富山県議会議長	中川 忠昭	6
北陸農政局長	森澤 敏哉	7
富山県農林水産部長	河村 幹治	8
富山県農林水産部 農村整備課長	川島 秀樹	9
富山県農林水産部 農村振興課長	宮田 義人	10
2 令和元年 秋の叙勲		11
3 第13回「元気とやま」むらづくり推進大会の開催		11
4 「令和元年 とやま水土里フォーラム」の開催		12
5 第42回全国土地改良大会（岐阜大会）		14
6 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 農業農村整備事業に関する要請		14
7 令和元年度富山県建設優良工事（土地改良部門）の表彰		15
8 令和元年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修		16
9 令和元年度換地関係異議紛争処理実務研修会（北陸ブロック）		17
10 土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催		18
①富山県換地センター換地計画実務研修会		18
②ため池監視・管理体制強化に関する技術研修会		18
③複式簿記導入促進特別研修会		19
④富山県構造改革推進ほ場整備研究会 先進地研修		19
11 <情報>富山県農業用水小水力利用推進協議会		20
12 <情報>富山県多面的機能推進協議会		20
13 <情報>非補助農業基盤整備資金のご案内		21
14 <お知らせ>今後の主な行事予定		21





## 新年のごあいさつ

参議院議員  
富山県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット富山)  
会長 堂 故 茂

新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和2年の初春を迎え、会員ならびに関係皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から農業農村整備の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は6月、8月の豪雨や2度の台風により多くの自然災害が発生いたしました。被災されました皆様に心からお見舞い申し上げますとともに一刻も早い復旧、復興を願っております。

さて、豊かな自然に恵まれた富山県の農業農村は先人の長年の知恵と努力により、全国に先駆けて整備された農地や用排水路網等の生産基盤に支えられ、美味しい富山米や園芸作物を育てて来ました。

また、農業用水は防火や消流雪、洪水の防止、そして、豊かな農村環境は伝統文化の継承とともに癒しや安らぎをもたらすなどの多面的な機能を有しており、県民の安心・安全な暮らしに役立っています。

しかしながら、近年、産地間競争の激化、農業後継者不足に加え、国際貿易の新たなルールづくりによる経済のグローバル化、食の安全に対する関心の高まりなど、農業農村を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに農村においては、過疎化や高齢化の進行などにより集落機能が低下し、自然環境や伝統文化などの地域資源の保全・活用や農道・水路等の保全・管理が困難になっている地域も見られるようになっていきます。

こうしたなかで農業の成長産業化を図っていくためには、生産性の向上や高収益作物導入のための更なる大区画化・汎用化に加えてICT技術を導入した生産基盤の整備を進め、農業の体質強化を図っていくことが必要でありますし、一方では特に中山間地域においては、生活圏として人が住み安心して農林業を営んでいける環境づくりを地域振興策として行なっていくことが極めて重要なことと考えております。

昨年末に閣議決定された国予算の中にも「国土強靱化」の視点を重視するとともに産業政策と地域政策が盛り込まれており、令和元年度補正予算、令和2年度当初予算合わせて6,515億円が確保されました。これも土地改良関係者が一致団結して活動した成果であり、心から御礼を申し上げます。さらに、今後の各施策の計画的な実施のためには当初予算での増額が必要不可欠であり、そのためには政治の安定が特に重要なことだと考えております。

県土連といたしましては、県選出の国会議員はもちろん、われわれ土地改良の代表である進藤金日子参議院議員と、皆様のご支援をいただいて国政の場に立たれた宮崎雅夫参議院議員とともに力を合わせて農業農村整備事業の推進に取り組んで参りますので、皆さんの変わらぬご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様とご家族にとりまして希望に満ちた令わしい年となりますように心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年に当たって

みどり  
全国水土里ネット  
会長 二階 俊 博

令和2年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、6月、8月の大雨、さらに台風第15号、第19号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和2年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る4,433億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると6,515億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年7月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に12年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであり、これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成30年の7月豪雨では、全国で32カ所のため池が決壊し、尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、2年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者として、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思っております。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。





## 新年を迎えて

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げる次第です。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」（初回開始後百周年）も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円（対前年度比64億円増）を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいり所存です。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいり覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 「闘う土地改良」—未来への礎を築くために

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。

富山県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年の1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。富山県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様から頂いたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかりと伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も残念ながら全国的には台風19号をはじめ一連の自然災害により、3000億円を超える農林水産関係被害が生じるなど、農地や農業用施設も大きな被害が広範囲で発生いたしました。早期の復旧はもちろんです。土地改良の農村で果たす大きな役割で踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特に、富山県でも大切な水源として利用されているため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和2年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけではなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地も推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、当初4433億円、補正1542億円、臨時特別の措置540億円の計6515億円を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

また、産業政策だけではなく、家族農業や中小規模の農家、兼業農家の役割を再確認しつつ、地域農業、農村集落自身を守っていくための地域政策をバランスよく実施していかなければなりません。農政の基本となる食料・農業・農村基本計画の5年に一度の見直しが進められていますが、その中にもしっかりと位置づけられる必要があります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしております。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国人の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。





## 人が輝く「元気とやま」の創造をめざして

富山県知事 石井 隆一

明けましておめでとうございます。令和2年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。平成16年11月の知事就任以来、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県の発展と県民の皆様の幸せのために邁進してまいりました。

私の変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが夢と希望を持って、いきいきと働き暮らせる「元気な富山県」を創ることです。このため、タウンミーティングなどを通して幅広い県民の皆様のご意見をお聴きしながら、「活力」「未来」「安心」の3つの基本政策と、これらを支える「人づくり」に関する重要政策の推進に積極的に取り組んでいるところです。

昨年は、本県ゆかりの万葉集を典拠とする「令和」の時代が始まり、朝乃山関や八村選手が大活躍するなど、喜ばしい出来事が続きました。また、富山県において、日台観光サミットや全国知事会議、シアター・オリムピックス、「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会などの全国的、国際的な会議等が開催され、本県の多彩な魅力を含めて、国内外の参加者から高い評価をいただくなど、本県の注目度が一段と高まっています。

間もなく開業から5年を迎える北陸新幹線の乗車人員は、開業前の3倍近くの高い水準が続き、観光客の増加、企業立地の進展、Uターン率の向上、若い世代を中心とした本県への移住者の増加など様々な効果が現れています。

また、本県の強みを活かした最先端ものづくりの強化、農林水産業や観光の振興、移住・定住の促進など、産業経済や地域の活性化を図り、本県を大きく飛躍させる取組みが広がっています。さらに、社会全体で子育てを支援する体制が整備され、教育・文化の振興等を通して、真の人間力を育む教育が展開されるとともに、医療・福祉の充実や環境の保全、防災対策の拡充など、安全で安心して暮らせる地域づくりが着実に進められています。

そして、経済・産業、教育・文化・スポーツ、医療・福祉などの幅広い分野における人材育成を図り、夢・情熱・志を持って、富山県の新たな未来を切り拓く「人づくり」が進展しています。今後とも、さらなる飛躍・発展を目指し、北陸新幹線の敦賀・大阪延伸や、IoT、AI、5G等の情報通信技術の発展などを見据え、「令和」の世にふさわしい活力と魅力あふれる県づくりに果敢に挑戦するとともに、県民の皆様の知恵と力を結集して、人が輝く「元気とやま」の創造に全力を尽くしてまいります。

新年にあたり、県民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



## 新年を迎えて

富山県議会議長 中川 忠 昭

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい令和2年の新春を、皆さまとともに寿ぎたいと存じます。

皆さまには、日頃から本県の農業・農村整備に多大なご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、我が国の社会経済環境は、少子高齢化の進行と人口減少時代の到来、グローバル化の一層の進展や環境・エネルギー問題、テロ・事件、災害による社会不安の顕在化など大きく変化しております。昨年は、米中貿易摩擦の激化や日韓関係の悪化等で国際情勢が緊迫化するなど激動の一年でありました。

また、農業・農村を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷や産地間競争の激化、さらに今月から日米貿易協定が発効となるなど、大きな転換期を迎えています。

こうしたことから県では、本県の実情に即した政策が構築されるよう国に働きかけるとともに、デビュー2年目を迎えた富山米新品種「<sup>ふ</sup>富<sup>ふ</sup>富<sup>ふ</sup>」の生産拡大や効果的なPRの推進等による富山米のブランド力向上、県産農産物等の国内外への販路拡大、担い手への農地集積、園芸生産の拡大等による所得向上、ICT等を活用したスマート農業の推進や農地の大区画化・汎用化等の農業生産の基盤づくりなどに積極的に取り組むこととしております。

県議会といたしましても、県政運営の両輪の一つとして、必要な公共事業予算の確保や安心して農林水産業を営める環境づくり等への積極的な支援などにより、本県農業・農村がより元気になるよう全力を尽くしてまいりたい所存であります。

皆さまにおかれましても優れたノウハウや技術力を活かし、個性豊かな魅力ある農業・農村づくりに向けて、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた幸多い年でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。





## 年 頭 挨拶

北陸農政局長 森 澤 敏 哉

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より農林水産行政の推進に御理解、御協力を賜り、とりわけ農業農村整備事業の推進に御尽力をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

さて、我が国農業は、国民の必要とする食料の安定供給を図るため、食料自給率の向上を目指す中、担い手不足や農地の減少に加え、頻発する自然災害やCSF等の家畜伝染病の発生、農産物貿易をめぐる国際環境の変化など、様々な政策課題に直面しております。

また、人口減少や高齢化に伴い国内マーケットが縮小する一方で、世界の農産物・食品マーケットは拡大を続けるなど、国内外で大きな環境変化が見込まれており、農林水産省では、農業や食品産業の成長産業化を促進する産業施策と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進するための地域施策を車の両輪として、若者たちが希望を持てる「強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現に向けた施策を展開しております。

こうした中、現在、今後の農業・農村の政策の方向等を示す食料・農業・農村基本計画について、5年毎の見直しの審議が進められており、国産農産物の消費拡大や輸出拡大、新規就農者の確保に向けた対策、生産性の向上を図るための農業基盤整備、スマート農業技術の導入に対する課題等が議論されております。さらには、次期土地改良長期計画を視野に入れた、農業農村整備の推進方向についても検討されております。

土地改良区についても、昨今の農業・農村を取り巻く情勢の変化に適切に対応できる仕組みや体制を整えることとし、土地改良法の改正を行い、地域の担い手や活動組織にも土地改良区を下支えしていただく准組合員制度を導入するとともに、計画的な更新費用の積立に資するよう会計基準を見直す等、土地改良区の運営の強化を図ったところであります。

北陸地域は、耕地面積の9割が水田であり、農業産出額の6割を米が占めるなど、水稲を中心とした農業経営が盛んに行われてきました。しかしながら、人口減等を背景に主食用米の需要量が減少傾向にある中、農業者の所得の維持・向上を図るためには、水稲以外の高収益作物の導入や複合経営への転換など、すそ野を広げる形を考えていく必要があります。このためには、農地や農業用水などの農業・農村の基盤整備が重要であると考えております。

北陸農政局としましては、素晴らしい北陸の農業・農村が、次の世代へ確実に引き継がれるよう、地域のニーズを十分に踏まえた農業農村整備事業を推進し、豊かな食生活とそれを支える地域社会を維持していきたいと考えております。

結びに当たり、本年も引き続き農政の推進について御理解と御協力をお願いしますとともに、富山県土地改良事業団体連合会の皆様にとって実り多い年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



## 新年のごあいさつ

富山県農林水産部長 河村 幹治

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい初春を迎え、富山県土地改良事業団体連合会、土地改良区をはじめ関係の皆様方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から本県の農業農村整備はもとより、農政の推進に格別のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、農業農村を巡っては、産地間競争の激化、後継者不足などに加えて、頻発する自然災害や国際的な経済連携の進展など、大きな転換期にさしかかっています。このように厳しい状況下ではありますが、農業は県民の「いのち」と「暮らし」を支える生命産業であり、幅広く施策を展開していくことで、競争力の高い農業と豊かで美しい農村を実現し、次の世代へしっかりと継承してまいりたいと考えております。

このため、県では、農業経営の安定化と収益力の向上に向け、農地を大区画化し、担い手への集積・集約化を加速させ、米の生産コストの大幅な低減化を進めております。また、一昨年本格デビューした富山米新品種「富富富」については、生産を拡大するとともに効果的なPR等によりブランド力の向上を推進しているほか、「とやま農業未来カレッジ」等による新規就農者の育成・確保に積極的に取り組んでいるところです。また、農地の大区画化・汎用化にあわせた農業機械や施設の整備を進め、園芸の1億円産地づくりをより一層加速化することとしております。

さらに、昨年4月1日に施行された改正土地改良法では、土地改良区の組合員資格や財務会計制度など、「土地改良区の在り方」が大きく見直されました。各土地改良区では、こうした改正内容を踏まえ、将来を見据えた体制作りを進めておられますが、今後も県としても、これまでに以上に各土地改良区の体制強化に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

また、地元から要望の強い土地改良事業関係予算については、平成22年に国の土地改良事業関係予算が大幅に削減されましたが、そうしたなかにあっても、県では、農水省や北陸農政局と相談し、毎年必要な予算の確保に懸命に取り組んでまいりました。その結果、昨年度の国の2月補正予算並びに今年度の当初予算及び9月補正予算においても、昨年度同期と比較して118.7%の189.5億円を確保し、着実に事業を推進してまいりました。今後とも、国事業を積極的に活用し、事業制度の充実を図るとともに、事業化に必要な予算の確保に努めてまいります。

本年も、本県の基幹産業である農業が守られ、意欲ある農業者が夢と希望を持ち安心して営農に取り組めるよう、県としても、職員一同、心を一つに全力で取り組んで参りますので、会員各位におかれても、引き続き、本県農政の推進に、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、土地改良関係団体の限りないご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。





## 新年のご挨拶

富山県農林水産部  
農村整備課長 川島 秀樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、本県の農業農村の振興、及び土地改良事業の推進に格別のご理解とご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、人口減少や高齢化等が進行し、取り巻く環境が大きく変化している農業農村ですが、昨年も全国各地で甚大な被害をもたらす自然災害が頻発し、スペインで昨年末に開催された国連の会議、COP25ではドイツの環境NGOにより昨年1年間で異常気象による最も深刻な被害を受けたのは日本であったとの発表もなされている中、災害に強い安全・安心な農村の構築に向け、引き続き、防災・減災、国土強靱化対策を推進することが益々重要になってきていると痛感しています。また、その一方で、TPP11協定、日EU・EPAに続いて、日米貿易協定が発効されるなど我が国の農業は新たな国際環境に突入しており、国内外の様々な需要に的確に対応するためには、生産性の向上や高収益作物導入のための更なる大区画化・汎用化とともに、スマート農業技術も積極的に導入した生産基盤の整備を進め、農業の体質強化を図っていく必要があります。

このような状況において、県では、本県の農業農村整備の目指すべき姿やその実現のための施策を示す指標として新たに策定した「富山県農業農村整備実施方針」に基づき、将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現を目指し、「『水(施設)』の適正な管理と強靱な基盤の形成」、「競争力の高い農業を支援する『土(農地)』の整備」、「豊かで美しい『里(農村)』の形成」を3つの基本施策として、10の推進施策を積極的に推進していくこととしています。

また、県内における農業用水路での事故が多発していることを受け、昨年末に安全対策ガイドラインを策定しました。ガイドラインでは、①ソフト対策の継続的かつ積極的な推進、②効果的なハード・セミハード対策の実施、③行政、関係団体及び地域組織等との連携強化を3つの基本方針として、今後、地域の実情やニーズに応じた安全対策を総合的に展開していくことにしています。

今後とも、素晴らしい本県の農業農村が新たな時代とともに持続的に発展していけるよう、様々な取り組みを進めていきたいと考えておりますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻をよろしく願います。

最後に、本年が皆様とご家族にとりまして、幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

富山県農林水産部  
農村振興課長 宮田 義人

令和の新時代を重ねる年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興に格別のご尽力とご理解、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

令和がスタートした富山県では、スポーツ界において明るいニュースが多く聞かれた年となり、大相撲の朝之山関、バスケットボールの八村塁選手や馬場雄大選手の活躍が連日耳に届いるところです。また、高校野球では2年連続夏ベスト16と強豪校と呼ばれる成績を重ねました。このことは、富山のスポーツ界各方面での選手強化の努力が結果として現れてきたもので、息の長い継続的な取り組みが花開いたと感じられるものでした。

一方、国内では、台風や集中豪雨などの自然災害が繰り返され、各地に大きな傷跡が残されるのを目にし、自然のもつ圧倒的な影響力を認識させられると同時に、そのたびに全国から被災地を支援する人々が駆け付け、被害にあわれた方々を勇気づける姿に、あらためて人々の営みのたくましさを再認識することができました。こうした、共助、協力の精神は、一朝一夕で育まれるものではなく、今日までの農業・農村を取り巻く厳しい環境を生き抜いてきた先人の方々のたゆまぬ努力の結晶と思われまます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、今後10年程度の間大きく変わることが予想されています。中山間地域をはじめとして、農村における人口の減少・高齢化が一層進行し、集落における非農家の割合も高まって、各種の行事はもとより、集落の寄り合い、農地や水路の維持・管理等に係る共同活動の継続が困難となる地域が増加することでしょう。一方で、農地の集積・集約化やスマート農業の進展などにより、意欲ある若者がある程度の規模で農業生産活動を展開するようになると、こうした共同活動が重要かつ不可欠な要素として位置づけられない地域も生じてくる可能性も近い将来必ず増えると思います。こうした状況が進行した地域が広がった場合においても、地域における共同活動をなくすことは、将来の地域のあり方としてお勧めできるものではありません。

県としては、こうした共助、協力の精神を引き継ぐ共同活動が、農業・農村の維持に加え、避けられない自然災害に見舞われた時に地域の底力にもつながるものと確信しております。今後とも活動を続けるためにどのように取り組んでゆけばよいか、土地改良関係の皆様のご教智と長年の経験をいただきながら、知恵を絞ってゆく所存です。どうか皆様方におかれても、将来の地域を背負う人材を育てるため、共助、協力の活動を息長く続けていただくとともに、今後とも富山県の発展と県民の皆様のご安全・安心、幸せのために、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

終わりに、土地改良関係団体のご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



## 令和元年 秋の叙勲

秋の叙勲において、元 呉羽射水山ろく用土地改良区理事長の天坂紘範氏が旭日単光章を受章されました。

長年のご功績に対し深く敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

天坂 紘範 氏 (元 呉羽射水山ろく用土地改良区理事長)



(主な経歴)

呉羽射水山ろく用土地改良区 理事 平成2年～平成7年  
呉羽射水山ろく用土地改良区 常務理事 平成7年～平成14年  
呉羽射水山ろく用土地改良区 理事長 平成14年～平成30年

## 第13回「元気とやま」むらづくり推進大会の開催

令和元年7月30日に富山県民会館ホールにおいて、富山県主催による第13回「元気とやま」むらづくり推進大会が開催され、農業及び土地改良関係者等約1,000人が出席しました。富山県では農業・農村の振興と多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度、耕作放棄地対策や都市農山漁村交流を推進しており、これら取組の必要性や成果を県民の皆さんに広くお知らせするとともに、活動指導者の情報交換等を図るために開催されたものです。

石井隆一知事の挨拶のあと、来賓として森澤敏哉北陸農政局長、中川忠昭県議会議長、堂故茂富山県土地改良事業団体連合会長の挨拶があり、引き続き今年度 農村振興・環境保全優良活動コンクール知事賞の受賞6団体に知事から賞状が贈られました。

続いて「富山の食・農・暮らしの明るい未来を

目指して」と題し、東京大学大学院農学国際専攻教授の鈴木宣弘氏から基調講演がありました。

次に、事例発表として受賞6団体から活動内容について発表があり、最後に「元気とやまむらづくり」に向けて総力を挙げて取り組むとの大会宣言がされました。

また、1階のロビーではパネル展示や、県内13団体の特産品等の販売コーナーが設けられ、一日市場として賑わいました。

優良活動受賞団体は、次の6団体です。

- ◇高畠集落 (朝日町)
- ◇鹿熊集落 (魚津市)
- ◇水橋常願寺地域活動組織 (富山市)
- ◇大沢野広域活動組織 (富山市)
- ◇黒河地区環境保全会 (射水市)
- ◇東中地区環境保全推進委員会 (砺波市)





## 「令和元年 とやま水土里フォーラム」の開催

令和元年10月8日（水）黒部市国際文化センターコラールにおいて、富山県と富山県土地改良事業団体連合会との主催による「令和元年とやま水土里フォーラム」が開催され、土地改良関係者、県・市町村等 約580人が参加しました。

主催者を代表して、山崎康至副知事、鹿熊正一県土連副会長から開会の挨拶があり、続いて来賓の森澤敏哉農林水産省北陸農政局長、中川忠昭富山県議会議長、大野久芳黒部市長の祝辞がありました。



次に県知事表彰があり、土地改良施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取組み、他の模範となる団体および個人に対して「とやま水土里賞」が山崎副知事から授与されました。

受賞されたのは、次の2団体と2個人の方々です。おめでとうございます。

- 団 体
  - ・大崎野用水組合(滑川市)
  - ・山田新田用水地区委員会(南砺市)
- 個 人
  - ・栃林 孝栄 氏(黒部市)
  - ・石田 一雄 氏(立山町)



つづいて、とやま水土里賞の団体受賞者である、大崎野用水組合(発表者:浦田竹昭氏)と山田新田用水地区委員会(発表者:細川 哲氏)から事例発表が行われました。



次に基調講演に入り、藤井 聡氏(京都大学大学院工学研究科教授)から「農業農村と国土強靱化」と題し講演していただきました。1959年の伊勢湾台風、1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災等の想定外とも言える大規模自然災害の歴史をふり返ると、これまで様々な対策を講じてきたものの甚大な被害により長期間にわたる復旧・復興を繰り返してきました。これを避けるためには、とにかく人命を守り、また経済社会への被害が致命的なものにならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平時から構築するという発想に基づき継続的に取り組むことの重要性についてお話がありました。



一方、会場1階エントランスでは新川管内の農産加工グループ等による展示・販売が、屋外では農業用コンクリート製品等の展示があり、大勢の来場者で賑わいました。



午後の現地研修では、愛本堰堤、十二貫野湖、災害復旧現場(魚津市東山)、生地の清水郡(生地魚の駅)をバス8台に分乗し研修を行い、全日程を終了しました。



愛本堰堤



十二貫野湖



災害復旧現場

## 第42回全国土地改良大会(岐阜大会)開催

令和元年10月16日(水)、岐阜市「岐阜メモリアルセンター 愛ドーム」において、第42回全国土地改良大会岐阜大会が開催され、大会テーマ「清流で未来をうるおす土地改良～水土里の恵みを新たな世代へ～」の下、全国から約4,000人の土地改良関係者が参集し、土地改良は未来への懸け橋であり、清流の水、農地の土、

農村の里、この「水土里」の恵みを新たな世代へ引き継いでいくとする大会宣言がありました。

令和元年度全国土地改良事業功績者表彰では、農林水産省農村振興局長表彰に前 富山県土地改良事業団体連合会参事 大口 章氏が受賞されました。



## 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 農業農村整備事業に関する要請

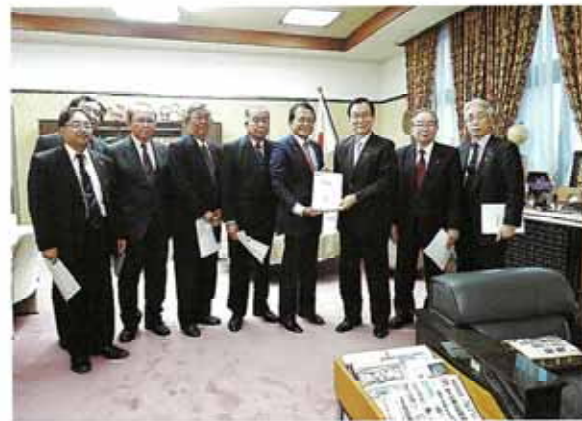
令和2年度の概算決定に向けて、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会(幹事県 富山県)では北陸四県の各土連の会長、副会長、事務責任者が、令和元年11月19日・20日に東京都内にて、自

由民主党本部と各県選出国會議員、財務省にて財務大臣ほか幹部職員、農林水産省では農林水産副大臣ほか幹部職員に対して農業農村整備事業当初予算増額の要請を行いました。

**要請先** 自由民主党、財務省、農林水産省、県選出国會議員



自由民主党 二階幹事長



麻生財務大臣





伊東農林水産副大臣



牧元農村振興局長

## 令和元年度富山県建設優良工事(土地改良部門)の表彰

富山県が建設技術の向上と建設工事の適正な施工を行い農業農村整備事業の健全な発展を期するため、毎年実施している県内優良工事の令和元年度「知事賞」並びに「農林水産部長賞」の表彰式が、令和元年12月23日富山県民会館において工

事関係者を招き開催されました。

また、各農林振興センターの表彰式は、新川管内(12月2日)、富山管内(12月2日)、高岡管内(11月29日)、砺波管内(11月29日)で、それぞれ開催されました。

### 【知事賞】

受注者	分野	工事名	工事場所
(株)河口組 河口俊昭	農村地域防災減災	用排水施設整備下楯地区下楯用水路第4工区工事	魚津市鉢
丸新志鷹建設㈱ 志鷹新樹	農地整備	ほ場整備水橋常願寺地区第5工区ほ場整備工事	富山市水橋常願寺
勢田建設㈱ 勢田栄治	農村地域防災減災	県営農村地域防災減災事業岩田池地区岩田池堤体改修工事	小矢部市松永
たち建設㈱ 館 直人	農村地域防災減災	農地防災庄川左岸三期地区西新又口用水路第3工区整備工事	砺波市中村

### 【農林水産部長賞】

受注者	分野	工事名	工事場所
小川建設工業㈱ 岡田富治	農地整備	ほ場整備窪田地区第15工区ほ場整備工事	下新川郡朝日町窪田
㈱新川マリン 森田唯志	農地整備	土地改良総合整備荻生南部地区荻生南部1号用水路ほか1路線工事	黒部市荻生
大道建設工業㈱ 寺田 清	農地整備	ほ場整備水橋常願寺地区第7工区ほ場整備工事	富山市水橋常願寺
㈱東洋住設興業 村野光明	農村総合整備	中山間総合整備富山広域地区八尾工区4-33水路工事	富山市八尾町茗ヶ島外
川原工業㈱ 川原和明	農地整備	ほ場整備水戸地区ほ場整備第19工区工事	射水市水戸田
三久建設㈱ 西川宝三	農村地域防災減災	県営農村地域防災減災事業上田地区瀬戸前大池堤体改修工事	氷見市上田
清水工業㈱ 清水良成	農地整備	土地改良総合整備福田地区水路整備第5工区工事	高岡市辻
雄基工業㈱ 野崎雄次	農地整備	ほ場整備中曾根地区ほ場整備第4工区工事	高岡市中曾根
笹嶋工業㈱ 笹嶋明人	農村総合整備	中山間総合整備となみ・なんと山麓地区南砺工区水路第20工区工事	南砺市才川七
㈱土居建設 土居憲俊	農地整備	ほ場整備石黒東部地区ほ場整備第5工区工事	南砺市和泉外
砺波工業㈱ 上田信和	水利整備	基幹水利施設庄西1期地区庄西幹線水路第10工区工事	砺波市中野

### 【新川農林振興センター所長賞】

賞区分	受注者	工事名	工事場所
県営	最優秀賞 ㈱花岡組	用排水施設整備長引野地区長引野用水路第7工区工事	魚津市大沢外
	優秀賞 ㈱音沢土建	土地改良総合整備荻生南部地区荻生南部9号用水路工事	黒部市荻生
団体営	良賞 此川建設㈱	基盤整備促進事業舟子川地区土木その2工事	黒部市宇奈月町浦山
	良賞 高橋土建	農地耕作条件改善事業水路改修工事(金山谷)	魚津市金山谷
	良賞 ㈱石橋組	平成30年度県単独農業農村整備事業森川用水路補修工事	滑川市大榎
	良賞 環研令和㈱	県単独農業農村整備事業六郎丸地区用水路改修工事	魚津市六郎丸

〔富山農林振興センター所長賞〕

	賞区分	受注者	工 事 名	工事場所
県 営	最優秀賞	㈱宮森工務店	中山間総合整備富山広域地区八尾工区4-20水路第2工区工事	富山市八尾町高熊
	優秀賞	㈱岡本組	小水力受託中滝地区発電所周辺整備工事	富山市上滝
団 体 営	優秀賞	㈱山新工業	県単独農業農村整備事業日俣地区水路改修工事	富山市日俣
	良賞	豊島産業㈱	県単独農業農村整備事業小黒地区古田川排水路改修工事	富山市小黒
	良賞	㈱テクノスフジ	維持管理適正化事業常西幹線用水路地区常西幹線用水路水門点検整備塗装工事	富山市常盤台

〔高岡農林振興センター所長賞〕

	賞区分	受注者	工 事 名	工事場所
県 営	最優秀賞	寺崎工業㈱	土地改良総合整備土屋・鳥倉地区用水路第14工区工事	高岡市福岡町土屋
	優秀賞	㈱吉田組	ほ場整備芹川柳原地区ほ場整備第5工区工事	小矢部市芹川
	良賞	西川工業㈱	土地改良総合整備城飯久保地区用排水路第7工区工事	氷見市飯久保
	良賞	屋敷工業㈱	基幹水利施設四ヶ村地区四ヶ村用水路第6工区工事	小矢部市西中
団 体 営	優秀賞	㈱宮下組	県単独農業農村整備事業二上地区下八ヶ佐加野用水路改良その2工事	高岡市八ヶ
	良賞	児島工業㈱	土地改良施設維持管理適正化事業統一用水5号用水路補修工事	高岡市戸出西部金屋

〔砺波農林振興センター所長賞〕

	賞区分	受注者	工 事 名	工事場所
県 営	最優秀賞	木村産業㈱	土地改良総合整備種田地区水路整備第5工区工事	砺波市庄川町筏外
	優秀賞	砺波建設㈱	基幹水利施設庄西1期地区舟戸口用水路第1工区工事	砺波市新明
	良賞	㈱西森組	土地改良総合整備若林地区水路第10工区工事	砺波市狐島
	良賞	㈱森組	土地改良総合整備大西地区水路整備第7工区工事	南砺市大西
団 体 営	優秀賞	つくばね建設㈱	県単独農業農村整備事業理休南部地区水路改修工事	南砺市理休
	良賞	(株)宮木建設	基盤整備促進事業庄下東部1期地区庄下2号排水路第3工区整備工事	砺波市宮村・高道

## 令和元年度 北陸ブロック 土地改良区体制強化事業 新規担当者研修

令和元年7月29日から8月2日にかけて、福井市の福井県国際交流会館において、令和元年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修(当番県:福井県土地改良事業団体連合会)が開催され、北陸四県の県、市町村、土地改良区及び県土連担当者約50名が参加しました。

研修は、野坂雄二福井県土地改良事業団体連合会専務理事の開催挨拶のあと、福井地方法務局、北陸農政局、ふくい農林水産支援センター、国土地理院北陸地方測量部、福井県、農事組合法人アバンセ乾側、福井県土連より講師を招いて、下記の内容で行われました。

日時	研修内容	講 師
7月29日	不動産登記制度と土地改良登記令	福井地方法務局登記部門 表示登記官 戸松英門 登記官 小野浩邦
7月30日	財産管理活用制度について	福井県土地改良事業団体連合会 土地改良課 課長補佐 清水章文
	土地改良法の概要	福井県土地改良事業団体連合会 土地改良課 技師 反保陽介
	換地理論・交換分合の概要	北陸農政局農村振興部土地改良管理課 課長補佐 高島久美
7月31日	相続登記について	福井地方法務局登記部門 登記官 吉田博和
	長期相続登記等未了土地解消作業の概要	福井地方法務局登記部門 登記官 小林智昭
	農地中間管理事業について	ふくい農林水産支援センター農地管理課 課長 後藤雅章
	確定測量について	国土地理院 北陸地方測量部 測量課 調査係長 鎌苅裕紀
	農地法と農振法について	福井県農林水産部中山間農業・畜産課 農地管理グループ 主事 小林宏光
	換地設計と土地評価	福井県土地改良事業団体連合会 土地改良課 課長補佐 清水章文
8月1日	道路法の概要	福井県土木部道路保全課 道路管理グループ 主事 野間裕右
	河川法の概要	福井県土木部河川課 河川管理グループ 主事 清水健吾
	換地計画書作成実務	福井県土地改良事業団体連合会 土地改良課 専門員 柿木康伸
	現地研修	農事組合法人 アバンセ乾側
8月2日	換地計画書作成実務	福井県土地改良事業団体連合会 土地改良課 専門員 柿木康伸





換地計画書作成実務



現地研修

## 令和元年度換地関係異議紛争処理実務研修会(北陸ブロック)

令和元年10月10日～11日 新潟市内において、換地関係異議紛争処理実務研修会(主催:全土連、開催県:新潟県土連)が開催され、農村振興局・北陸農政局・全土連・北陸4県の県・県土連の換地担当者31名が出席しました。

挨拶の後、農村振興局土地改良企画課の高森換地係長から「換地を取りまく状況について」と題して中央情勢について報告が行われました。引き続き富山県・石川県の換地関係異議紛争処理事例に基づくケース・スタディーの検討会が行われました。テーマは、「特定用途用地(境内地)が二重登記と判明し登記官による職権消除によ

り二重登記を解消した事例」、「一時利用地の指定に伴い集落外権利者から説明不足を理由に不服申立書を提出されたが審査請求に至らず取下げた事例」について、活発な意見交換及び総括が行われました。

翌日は、福井県から「換地処分登記申請前における地区外公図と地区境界相違に伴う処理事例」について説明があり検討会が行われました。最後に、中央換地センターから「換地関係異議紛争処理検討事例一覧について」等の報告が行われ全日程を終えました。



## 土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催

### ①令和元年度富山県換地センター換地計画実務研修会

富山県換地センターでは、換地技術者育成を目的とした研修会を年2回実施しています。後期研修会として、令和元年7月2日に富山県総合情報センターにて「令和元年度富山県換地センター換地計画実務研修会」が開催され、土地改良区、県、県土連の担当者、計71名が出席しました。研修会は、まず浦田一郎換地士部会長の開会挨拶があった後、下記の内容にて研修を行いました。

講義内容	講師
財産管理制度活用マニュアルについて (実務編)	新潟県土地改良事業団体連合会 換地部 次長 監物 淳二



監物次長からの講義



講義の様子

### ②令和元年度ため池監視・管理体制強化に関する技術研修会

令和元年8月29日に富山県土地改良会館3階研修会室において、ため池の保全管理体制整備を推進するため、ため池への「水位計や監視カメラ設置」を見据えた事例紹介、及び富山県における「ため池の防災減災対策」についての技術研修会を下記のとおり実施しました。

研修内容	出席・参加者
○ため池の防災減災対策について 県農村整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係土地改良区 ため池管理者</li> <li>・市、町、県等の関係者</li> </ul>
○ため池防災監視システムについて (株)オサシテクノス (株)堀江商会 (株)ウエノ	
	約60名





### ③令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会

令和元年9月4日(水)に富山県情報総合センターにおいて、また、9月11日(水)に富山県土地改良会館において、「令和元年度複式簿記導入促進特別研修会」が開催され、県内土地改良区の役員、県職員など142名が参加しました。

この研修会は、全国水土里ネット主催で全都道府県において開催されており、土地改良区における貸借対照表の作成が義務化されることをうけて、複式簿記への円滑な移行を図るため、導入に関する実務的知識を習得することを目的としています。

#### 主な研修内容

1. 土地改良区における基本的な勘定科目と仕訳について
2. 土地改良施設の資産評価マニュアル紹介と減価償却の実務
3. 土地改良区会計基準に基づく会計記帳実務
4. 土地改良区特有の勘定科目及び仕訳について
5. 開始貸借対照表の作成方法について

### ④富山県構造改革推進ほ場整備研究会 先進地研修

富山県構造改革推進ほ場整備研究会（会長：定司俊憲福野町土地改良区理事長）では、令和元年11月14日(木)～15日(金)に石川県能登方面にて先進地研修を行い、会員ら30名が参加しました。

中能登町では、県営ほ場整備事業東馬場地区（H19～H27）を中心に、農地の大区画化や地下水位制御システムによる生産コストの低減や用水の安定供給、農地の汎用化を進めることで高収益作物の導入が可能となり、野菜や花き類の生産拡大も合わせ農産物販売額が年々増加しております。

東馬場地内の農事組合法人「あぐりばんば」では、水稻以外に白ネギやほうれん草、そば等の転作や2毛作を進め着実に収益を上げ、また農閑期の野菜・花き類を取り入れたことで通年就労を可能にし、新規就労者の確保や経営の安定化を進めておられます。参加者からは、高収益作物の選定や収益実績、また地下水位制御システムの効果や管理状況などについて活発な質問がありました。

七尾市鉦打（なたうち）地区では、農事組合法人「なたうち」から、地域社会の維持活性化を目指し農地整備事業をきっかけに、広域的な組織連携体制を整え、営農面での低コスト化や農産物の高付加価値化と6次産業化の推進により、農業所得の向上による農業の産業化を図っておられ、新規雇用や法人の経営面積が毎年増加している説明を受けました。

また、当法人や各種団体で構成される「鉦打ふるさとづくり協議会」では農業を中心とした地域振興を推進しており、広域的に関係者が連携し、担い手支援、交流体験活動、高齢者対策等々に取り組んでおられる説明を受け、研修の全日程を終了しました。



◆富山県農業用水小水力利用推進協議会◆

◆土地改良区体制強化事業の一環として、農業水利施設を活用した小水力等発電設備の円滑な導入・運営を図るため、全土連が開催する研修に当協議会から下記のとおり参加しました。

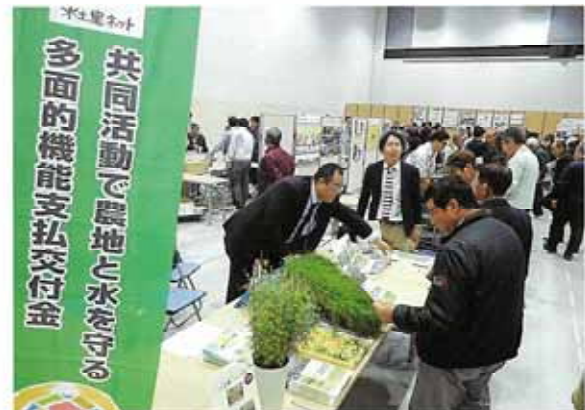
名称	月日	研修内容	参加人数
【指導者育成研修】	R元. 9/4～9/5 東京都内	・小水力発電の計画・設計・施工管理、運営について ・発電施設の事例紹介	5名
【技術者育成研修】 北陸ブロック	R元. 11/14 石川県農林会館	・土地改良区会計について ・発電会計の事例	27名
	R元. 11/15 石川県農林会館	・小水力発電設備の維持管理 ・太陽光発電の保守点検	9名



◆富山県多面的機能推進協議会◆

富山県多面的推進協議会では多面的機能支払交付金の活動の活性化・継続性の確保を目的としており、令和元年11月12日に富山産業展示館(テクノホール)で開催された「多面的機能支払推進研修会」では、活動組織、関係機関などから約1,050人が参加しました。

研修会では「カバープランツによる畦畔・法面の管理について」(東京農工大学 藤井義晴教授)、「富山県における農業用水路の安全対策について」(富山県農村整備課 堀田善之副主幹)の講演を受けました。また、同時開催したパネル・ブース展示では、コンクリート二次製品、ラジコン草刈機、防護柵や水路蓋・反射材などの安全施設、活動中のケガや賠償事故の保障プラン、水路・道路補修材や防草シート、畦畔管理の省力化に役立つ緑肥種子などの技術紹介が行われ、有意義な研修会となりました。





◆非補助農業基盤整備資金のご案内◆

1. 非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2. 対象となる事業種類・内容

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道(軌道等運搬施設を含む)、畦畔整備、農地造成、防災・農地保全、農業集落排水(農村下水道)、発電施設。

維持管理計画書作成に係る調査費、土地改良区事務所の新增築、事務機器や複式簿記導入に係るシステム、車両など。

3. 融資条件

●貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合(事業主体となる場合に限る)、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人

●償還期間 25年以内(うち据置期間10年以内)

【農業農村整備資金利率】

区 分		R 1. 11. 18現在
補 助 事 業	県 営	0.24 %
	団 体 営	0.09 %
非 補 助 事 業	一 般	0.09 %

〈お問い合わせ先〉

- ・ 富山県農林水産部農村整備課換地業務係 076-444-3375
- ・ 北陸農政局農村振興部土地改良管理課 076-263-2161 (代表)
- ・ 富山県土地改良事業団体連合会事業部管理指導課 076-424-3380

〈融資担当機関〉

- ・ 日本政策金融公庫富山支店 076-441-8411
- ・ 農林中央金庫富山支店 076-445-2508 (公庫受託課)

お 知 ら せ

今後の主な行事予定 (令和2年1月～)

月 日	会 議 と 行 事	場 所	参 加 対 象	備 考
2月 7日	災害復旧技術向上のための講習会	県 土 連	県・市・町等	県
2月 7日 ～10日	とやまの農山村写真展 表彰式・展示	富山県民会館 (ギャラリーD)	一般	県
2月中旬	ため池監視・管理体制の研修会	県 土 連	県・市・町、 ため池管理者	県
2月19日	富山県担い手育成ほ場整備研修会	高 志 会 館 ( 富 山 市 )	土地改良区・ 営農関係者等	ほ研会
2月下旬	小水力発電等に関する技術研修会	県 土 連	富農水力 協議会会員	
3月16日	本会 第62回通常総会	富山第一ホテル	会員・来賓等	主催

(注) 本案はあくまでも予定であり、別途詳細案内等を確認のうえ参加ください。

令和元年度「とやま水土里賞（知事賞）」受賞者の紹介

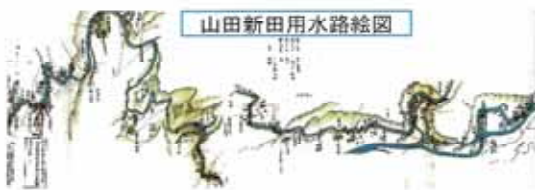
■ 団体の部 ■



大崎野用水組合（滑川市）  
大崎野用水路  
（大崎野用水路の草刈状況）



山田新田用水地区委員会（南砺市）  
山田新田用水路  
（強風後の倒木処理状況）



■ 個人の部 ■



栃林 孝栄氏（黒部市）  
十二貫野用水路  
（管水路の水量調整状況）



石田 一雄氏（立山町）  
横江頭首工  
（監視装置の操作状況）



農業農村整備事業等の調査・測量設計等業務に関する  
ご相談は、下記までお問い合わせください。

富山県土地改良事業団体連合会

〒939-8214 富山市黒崎17番地  
TEL076-424-3300 FAX076-424-3332  
<http://www.tym-midori.net/tomidoren>

